



◆アレルギー支援ネットワーク 通信◆



NO. 112 2016.4.1

春爛漫。桜の花びらが舞う中、いよいよ新年度がスタートしました。支援ネットでは、今月からアレルギー大学の申し込みが始まります。今年度も、アレルギーについてみなさまの周知と知識向上に尽力させて頂きたいと、職員一丸となって頑張ります。よろしくお願いいたします。

それでは、今月のメルマガもお楽しみ下さい♪

==== も く じ =====

- 1、今月より開始です！！「第11期アレルギー大学 申込み受付のご案内」
- 2、リレートーク「栄養指導実施クリニックの紹介」 第3回 てらだアレルギー—こどもクリニック 寺田明彦院長
- 3、賛助会員からのメッセージ ★ヤングビーナス薬品工業株式会社★
- 4、瀬戸市の患者会立ち上げについて 瀬戸市患者会 井上佳美・宮野美智代
- 5、各地からのお便り 第11回 「アレルギーファミリー向けお出かけブック沖縄発刊」
一般社団法人 アレルギー対応沖縄サポートデスク 沼田ゆみ
- 6、インターネットアレルギー大学のご案内
- 7、書籍『おいしく治す食物アレルギー攻略法』大好評販売中♪
- 8、【2016年度】「アナフィラキシー対応とアドレナリン自己注射器」講習会のお知らせ
- 9、アレルギーっ子の防災 第30回「防災講座-10:地震対策を知る(自宅の耐震-2)」防災士 中根輝彦
- 10、おすすめ♪勉強会・イベント情報のお知らせ ★刈谷アレルギー児の親の4月交流会★
- 11、「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ
- 12、Gooddo (グッドゥ) でアレルギー支援ネットワークを応援して下さい！！

=====

1、今月より開始です！！「第11期アレルギー大学 申込み受付のご案内」

..oOo..*:.oOo..*:.oOo..*:.oOo..*:.oOo..

☆ 第11期アレルギー大学の受付開始 ☆

..oOo..*:.oOo..*:.oOo..*:.oOo..*:.oOo..

大変お待たせいたしました！4月1日（水）より受付開始となります。本年度は、愛知、千葉、新潟、京都、沖縄で開催します。愛知会場では、受講生の皆さまからのご要望が多かった「食事指導」と「災害対策」の2つの新講座を開設いたします！！今年度もアレルギーのエキスパートが最新情報を皆さまにお伝えします。アレルギー対応の悩みや現場での問題などを解決するためのヒントが満載の講座となっております。調理師、栄養士、保育士、養護教諭など、専門職の方はもちろん、企業のアレルギー対応、子育て支援関係、患者家族などアレルギーの子ども達と関わる方、アレルギーに関心のある方、どなたでも受講できます。ベーシックプログラム（1日講座）は6会場（愛知、静岡、岐阜、三重、新潟、千葉）で開催予定です。

:.oOo.皆さまからのお申込みをお待ちしております.oOo..

アレルギー大学 HPはこちら <http://www.alle-net.com/alledai/alledai01-01/>
お申込みはこちら <http://www.alle-net.com/alledai/alledai16-01/>

2、リレートーク「栄養指導実施クリニックの紹介」 第3回 てらだアレルギー—こどもクリニック 寺田明彦院長

2010年12月、名古屋市南区にアレルギー科・小児科専門クリニックを開設し5年が経ちました。子どもの病気、特にアレルギー疾患（ぜんそく、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎・花粉症など）の診断と治療に力を注いでいます。子どもたちの健康を守り、家族の皆様の不安を和らげることができる、明るい笑顔のあふれるクリニックを目標にスタッフ一同頑張っています。

【診療実績】

これまでのアレルギー患者数月別推移を図1に示します。最近、ぜんそくが横ばい、アトピー性皮膚炎は減少、食物アレルギーと花粉症が増加しています（2016年1月）。

【診療内容紹介】

1. 食物経口負荷試験

食物アレルギーの確定診断、安全摂取量の診断、食物アレルギーの耐性獲得を目的に経口負荷試験を行っています。1～3歳の幼児はなかなか食べてくれないため、判定に支障のない児の好きな食べ物と混ぜて食べる工夫をしています。また、DVDやおもちゃなどで気分転換を図りながら行っています。アナフィラキシーを起こすこともまれにあり、担当看護師が必ずつきっきりで十分な観察を行いつつ隣室で診察中の医師とコンタクトをとりながら慎重に進めています。

2. 皮膚テスト（プリックテスト）

生後6か月未満では、まだ血液中に特異的IgE抗体が検出されにくいいため活用しています。また、花粉・果物症候群の疑いのある方や特異的IgE抗体が検査できない場合には、原因食物を持参していただきPrick by prick testを実施しています。

3. 食物アレルギー、栄養指導

アレルギー支援ネットワークから派遣されたエキスパート（管理栄養士）が月4-5回栄養指導を行っています。除去食の代替食、アレルギーミルクを使用した離乳食の紹介、アレルギー物質の表示の見方、そして食物アレルギーの除去食解除にあたり加工食品のタンパク質量を保護者と一緒に考えて指導しています。看護師は栄養士と連携をとりながら体重増加不良児や除去食解除が進まない児など、不安の強い保護者の話を傾聴しサポートしています。

4. 肺機能検査と呼気NO測定

6歳以上の喘息児は毎回スパイロを行い、フローボリューム曲線を測定し肺の大きさと息を吹く力を客観的に評価しています。さらに、気道炎症と呼気NOにて評価し喘息コントロールの目安にしています。

5. 喘息、吸入指導

パンフレットを使用して喘息の病態、治療、環境整備などを説明しています。吸入療法を始めるにあたって発達段階に応じて手技を説明し、練習用のデバイスを用いて個別に患児と保護者に指導しています。低学年児にDPIを指導する際は、吸入方法をDVDで学習してから看護師が実演し練習します。そして長期管理薬と吸入短時間 β_2 刺激薬の使い方を書面にして患児・保護者が理解できるように説明しています。再診時には吸入手技や吸入実施状況を再確認しています。セルフケアの支援ではピークフロー測定を指導し、最良値から80%に低下した値を本人と保護者に伝えて悪化予防に努め対処方法を指導しています。

6. スキンケア指導

アトピー性皮膚炎の病態、治療、環境整備などを説明し、スキンケア（体の洗い方、軟膏の使用法）を個別に指導しています。特に部位によってステロイド軟膏指示が異なる場合は軟膏指示シートを使用して説明しています。また、定期的に看護師が「スキンケア教室」を行っています。石けんの泡立て方や軟膏の使用量・塗り方を実演しながら適切なスキンケアと軟膏療法を指導しています。

7. アレルギー性鼻炎・花粉症

通年性・季節性と共に、年々増加しています。診断には鼻汁中好酸球の検査を行っています。点鼻薬の使用法では、患児が嫌がらないように鼻粘膜への刺激を少なくする方法を指導しています。また、マスクの活用やアレルゲンの除去・回避を指導しています。

8. 副鼻腔炎

長引く咳の出る疾患の鑑別診断に重要です。副鼻腔レントゲン検査（ウォーターズ法）を行う際には、子供に不安な気持ちを抱かせないように、励ましつつ上手にできるよう援助しています。そして、咳の出かたを詳しく聞き、鼻汁が溜まっている児は鼻をかむ練習や自宅での鼻汁吸引を指導しています。また、なかなか治りにくい患者さんには、家庭での1%食塩液を用いたカテーテルチップによる鼻洗いをお勧めしています。

近年、アレルギー患者が増加しており、不安を抱えた保護者も多く、検査一つにしても保護者に書面によりわかりや

すく説明してから検査・処置に立ち合ってください、できるだけ児の不安を軽減することで適切な検査・処置ができるように支援しています。そしてアレルギー疾患の診断後は、適切なセルフケアができるように児や保護者の話に傾聴し治療が継続できるように心がけています。

【てらだアレルギー—こどもクリニック HP】

<http://www.terada-allergy-kodomo-clinic.com>

3、賛助会員からのメッセージ ★ヤングビーナス薬品工業株式会社★

はしめまして。岐阜県坂祝町のヤングビーナス薬品工業です。「別府温泉の恵みを全国のご家庭に届けたい」という思いから、別府温泉の天然湯の花を配合した薬用入浴剤を作り続けて53年の入浴剤メーカーです。当社創始者の「別府温泉に伝わる湯の花の力を、人々の健康づくりに役立てたい」

「温泉の恵みを広く家庭にも届けたい」という強い思いから始まりました。温泉成分の結晶体である別府温泉の湯の花を精製し、湯の花エキスを製造。11年の歳月を経て、昭和36年に別府湯の花を使った独自の入浴剤を完成させて以来、私たちはその製法を大切に守りながら、お客様に愛される製品作りを心がけてまいりました。

日本小児アレルギー学会では、「高血圧の方が薬を飲んだり、脚の不自由な方がリハビリを続けたりするのと同じように、アトピー性皮膚炎の子どもにとってシャワーや入浴で皮膚を清潔に保つことは治療の上でとても大切なことです」言われております。

お肌のトラブルや塩素が刺激となってしまうなどのってお悩みをお持ちの方が少しでも安心して効果的に入浴できるように取り組んでいきたいと思っております。

3月のフェアでは、薬用入浴剤「養命泉(ようめいせん)」を紹介させていただきました。湯の花に含まれる天然のミネラルを活かした商品で、無香料、着色もビタミンB2を使い、やさしい淡い色に仕上げています。

商品に関するご質問やご感想、また、サンプルのご希望がありましたら、お気軽にご連絡をください。当社の理念は、「自然のパワーで、人々の健康人生に奉仕する」ことです。

「ヤングビーナスの入浴剤と出会えて良かった。」と、おっしゃっていただけるように、これからも取り組んでいきたいと思っております。

【ご連絡・問い合わせ先】 TEL:0120-171-555

担当E-mail : n-adachi@youngvenus.co.jp

ヤングビーナス薬品工業株式会社 担当 安達

【ヤングビーナス薬品工業株式会社 HP】 <http://www.youngvenus.co.jp>

4、瀬戸市の患者会立ち上げについて 瀬戸市患者会 井上佳美・宮野美智代

この度、アレルギー支援ネットワークのお力をかりて瀬戸市に患者会を立ち上げることができました。アレルギー支援ネットワークの方々には心より感謝申し上げます。

アレルギーと言っても、アレルギー物質の違いから重症度まで多岐に渡り様々です。

良いのか悪いのか私の周囲に息子ほど重度のアレルギーのお子様はいませんでした。

手探りの生活、どこに誰に相談して良いのかわからず、情報の検索先はインターネットでした。インターネットの情報は正しいものばかりではありませんがそこに頼らざるをえない現状がありました。

アレルギーの子供を育てるにあたり、最大の難関は親元を離れ集団生活にはいることでした。幼稚園ではエピペン所持の子供の受け入れは初めてです。何をどのように説明したら理解しやすいのか、親も園の先生も安心できるのかと試行錯誤でした。こんな時に患者会が身近にあったらいいな、先輩ママがいたらいいなと漠然とした思いを持ちながら過ごしていました。

患者会では、母親の気持ちの共有、病院、園や学校、スーパーなど 様々な情報交換が可能になります。また横の繋がりもできアレルギーの子供と母親にとって安らげる場所になるのではないかと考えました。

私の転機は、QOLトラベルさんのアレルギー対応旅行です。そこでの会話にはあまりに共感することばかりで感動したことを覚えております。右を見ても左を見てもアレルギーを持つ子供とその家族、精神的にかなり楽になり、仲間がいると実感しました。

同時に地域の患者会の重要性を再認識いたしました。

決意したら、何かとご縁が繋がり、アレルギー支援ネットワークの方のご協力を得てあっという間に患者会を立ち上げることとなりました。

瀬戸市では、市の施設を貸していただけるのでそこで患者会を開催することが可能です。また保健師さんも参加していただけるので恵まれた環境にあると思います。保健師さんが参加して下さることは、患者会にとっては強みだと思います。

まだまだ立ち上げたばかりの患者会、私たちも試行錯誤です。

クリスマス会、給食センターの訪問、災害時の備蓄品の対応などやりたいことはたくさんあります。

しかし患者会の存在を市民に知っていただくこと、そして継続していくことが最優先だと思います。

アレルギーを持つ親子がみんな、暮らしやすい街になるように日々の暮らしの中の小さなことから始めていけたらいいなと思います。

瀬戸市では月一回患者会を開催しています。

アレルギー支援ネットワークの方がいらして下さるので、アレルギーに関する最新情報を得ることができます。

また疑問にも答えていただけると思います。

患者会に参加することで「一人じゃない」と感じることができ、日々頑張る母の安心できる場所になるといいなと思います。

アレルギー疾患でお悩みの方、ぜひお気軽にご参加ください。アレルギーを持つ子供の子育て、一緒に学び楽しみましょう！！

5、 各地からのお便り 第11回 「アレルギーファミリー向けお出かけブック沖縄発刊」

一般社団法人 アレルギー対応沖縄サポートデスク 沼田ゆみ

みなさん、こんにちは。

アレルギー対応沖縄サポートデスクです。

昨年、「ぴあ」さんより全国版のアレルギーっ子お出かけブックが発刊されました。

この本の発刊は、全国のアレルギー児のいるご家族にとって、とても待ち望んでいた書籍ではないでしょうか。

ちょうど、同時期に沖縄も「お出かけブック」の企画が進行していました。

というのも、沖縄県は観光県を謳っていますが、とにかくインターネットで調べても情報が少なく、県内に住んでいる私たちでさえ「どこへ行ったら良いんだろう？」と言った状態。

何とか見つけたファミリーレストランや、メニューを毎回レジャーのたびにとちょっと楽しみ半減な状態でした。しかし、今回この本の企画にあたり、色々調べて情報を集め見聞きした結果、今まで知らなかった情報を発見できたので発刊にまでこぎつけることが出来ました。

この本で気をつけたことは他品目や重度のアレルギーの方向け、というよりはたとえ「卵だけ」、「乳製品だけ」の対応だとしても「正しく丁寧に」対応してくれるところを掲載しています。

アレルギーご家族にとって一番安心できる事は「正しい情報を提供してくれる」事だと思ったからです。

こちらの本は沖縄県外の方でしたらこちらから購入可能です

<http://okinawa100.shop-pro.jp/> (近代美術オンラインショップ)

もちろんアレルギー対応沖縄サポートデスク(<http://okialle.or.jp/>)でも販売しておりますので、お気軽にお問い合わせください。

こうした情報公開の取り組みが全国規模になれば、たくさんのご家族のQOL向上につながると思います。



6、インターネットアレルギー大学のご案内

インターネットアレルギー大学は、アレルギー大学は日程が合わない、会場まで遠い、託児がないと受講できないという声にお応えして、インターネットを介して、在宅のままアレルギーについて学んでいただく通信教育講座です。講座は「第9期アレルギー大学 愛知会場」での講義を配信しております。アレルギーの基礎知識から、園や学校などにおけるガイドラインの解説、集団給食、食育などのアレルギー全般を各専門分野で活躍中の全国トップレベルの講師陣が熱心に伝える満足感たっぷりの講座です。コースは初級から上級までございます。1年間の受講期間中はいつでもインターネット(動画配信)で復習できます。

この講座によって皆さんが、アレルギーに対して正しい知識を得て、ご活躍されることを願っております。

詳しい内容はこちらのパンフレットでご確認ください。

http://alle-sien-net.sakura.ne.jp/wp-content/uploads/2013/03/net_9alledai.pdf

お申し込みはこちらから

<http://www.alle-net.com/i-alledai/i-alledai08-01/>

皆様のお申し込みをお待ちしております。

7、書籍『おいしく治す食物アレルギー攻略法』大好評販売中♪

～あいち小児保健医療総合センターで、これまでに蓄積してきた食物アレルギーに対する食事指導のノウハウをまとめた一冊～

本書は、第31回日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会（2014年6月28日～29日、名古屋）において発行した記念誌を、認定NPO法人アレルギー支援ネットワークから再発行したものです。伊藤浩明先生監修の下、あいち小児保健医療総合センターアレルギー科で実際に使用している資料を「資料編」と「解説編」にまとめた一冊です。

昨年11月の発売からまもなく1年。第1刷は半年ほどで完売し、第2刷入荷後も日本全国からたくさんのご注文・お問合せを頂戴しております！通常はアレルギー支援ネットワーク直販のみとなっておりますので、ご注文は下記URLよりお申し込みください。ご注文をお待ちしております。（関連学会等では書店にて委託販売をお願いしている場合もございます。）

♪ご注文はこちらから↓↓♪

<http://alle-net.com/cart/book3/cart.cgi>

【※ご注意※】

この「攻略法」は原則として、各医療機関の医師の診断と指導の下に管理栄養士が食事指導を行うことを想定して作られています。食物アレルギーの基礎的な内容を網羅した解説ではありませんので、一般的な知識は成書や研修会などで学習した上でご利用ください。

一般の方は必ず主治医の指導の下でご利用下さい。

8、【2015年度】「アナフィラキシー対応とアドレナリン自己注射器」講習会のお知らせ

学校や園でアナフィラキシーのリスクを持った子どもたちへの対応が、教育・保育の現場で大きな課題になっています。

“救える命を守る”ため、もしもの時…迷わず使えるようにしておく必要があります。

教育・保育関係の先生および保護者を対象として、エピペンの使用を含むアナフィラキシー対応に関する講習会を2013年度より企画して大変好評を頂いている講習会です。

2016年度の講習会開催日のご案内を致します。

日程は、2016年4月23日（土）、5月20日（金）に開催致します。
会場・開催時間・内容等はチラシ内容をご確認の上お申し込みください。

9、アレルギーっ子の防災 第30回「防災講座-10:地震対策を知る(自宅の耐震-2)」防災士 中根輝彦

メルマガをお読みの皆さん、こんにちは。防災士の中根輝彦です。
今回も引き続き、自宅の耐震強化策です。

先回は、1)住む地域を選ぶ、2)住む土地を強化する、でした。今回は建物についてお話しします。

3)建物を強化する

自宅建物を地震の揺れに強い構造となるよう補強しましょう。倒壊しなければ死傷を免れ、当面の住居を確保できます。

歴史的にみると、災害のたびに建築基準法・耐震基準や手続が見直されて、新築物件の建築許可条件はだんだん厳しくなっています。これらの施策により結果的に、新たに建てる建物は、(以前よりも)より地震に強い住宅となってきました。建て替えが進めば、町全体で地震に強い建物の比率が高まり、被害軽減が期待できます。新築物件ではなく、すでに住んでいる住居は、そう簡単に建て替えができるものでもありません。耐震強度を高める改築を検討しましょう。行政による支援制度もいろいろあるので、お住まいの地域の行政窓口にご相談しましょう。間取りや構造などから耐震強度を調べ、改築要否を教えてくれる「耐震診断」、改築費用を支援する「耐震改築」の助成制度などは、行政の予算の都合で、取扱い件数や金額に限度があり、申し込んでも断られたり、次年度繰り越されたりという対応もあるようです。よく調べて早めの対応をしましょう。

4)ブロック塀を強化・撤去する

住居建物だけでなく、敷地の周囲をかこっているブロック塀についても強化策を考えましょう。これまでの地震で、ブロック塀が基礎の部分から壊れて板状に倒れた例もあります。近くにいた時に地震の揺れでブロック塀が倒れてきたら...、激しい揺れで逃げることもできずに下敷きになったら...、その重さや衝撃が凶器となって襲い掛かります。

地域によっては、行政支援策として、ブロック塀お改修や撤去の助成金制度を設けているところもわかります。緑化推進と組み合わせる生垣への変更を進めているところもあります。防犯対策との兼ね合いも考える必要があります。

5)外壁・屋根などの付随物の取り付けを強化する

建物だけでなく、そこに取り付けられる付随物も落下してこないよう、対策しましょう。アンテナ、太陽熱温水器、太陽光発電パネル、看板なども、地震の揺れで落下したら、凶器となります。

6)敷地内の重量物の転倒防止をする

電気温水器、蓄電池、プロパンガスのボンベ、カーポート、物干し、物置などの重量物、店舗なら自動販売機なども、対策しましょう。落下して来たり、倒れたものの下敷きになったら、負傷してしまいそうなものは、あらゆるものが対象と考えるべきです。一度にすべて対応するのは大変かもしれませんね。優先順位をつけて、危険度の高いものから取り組みましょう。

次回も引き続き、自宅の耐震強化対策について考えます。

防災士 中根輝彦

日々つぶやいています。 Twitter:@TeruhikoNakane facebook:teruhiko.nakane

内容は筆者個人の考え方に基づくものです。アレルギー支援ネットワークを代表するもの、方針を反映したものではありません。

ご意見ご感想をいただくと嬉しいです。次の原稿を書く励みになります。アレルギー支援ネットワークの事務局まで、お寄せ下さい。□

宛先: info@alle-net.com

10、おすすめ♪勉強会・イベント情報のお知らせ ★刈谷アレルギー児の親の4月交流会★

新学期が始まり、園生活・学校生活のなかで、不安になったり、みんなはどうしているのだろうと思っていることを、アレルギーに詳しい中西さんに相談したり、会員同士の情報交換をしたいと思っています。また、園生活などに限らずアレルギーに関する最新の情報を教えていただき、今後の生活に役立てていけたらと思います。

アレルギーに悩んでいる方は共通の悩みも多く、それをクリアする方法もいろいろあると思います。

いろいろな方にお話しすることによって、すごく気持ちが楽になることがあります。

刈谷、知立などの方が多くですが、市外からの参加も大歓迎です。

ぜひ、参加してみてください。

初回は無料です。その後1回100円または年会費500円です。

刈谷アレルギー児の親の4月交流会

4月17日(日) 10:00~12:00

講師 NPO 法人アレルギー支援ネットワーク 中西さん

4月以降の予定

5月15日(日) 10:00~12:00 交流会 刈谷市民ボランティア活動センター

6月19日(日) 10:00~12:00 防災講演会&防災ポーチ作り 刈谷市一ツ木市民館

防災ポーチ材料費 2,000円(携帯ラジオ込)で行います

災害時に持っている便利なものが入ったポーチを作ります。

11、「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ

食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、ぜん息など、アレルギーのお子さんの事、アレルギーかな?と、お悩みのある方、スキンケアや食事の事、園や学校についてなど、私たちと一緒に話をしませんか?どこの交流会へも参加可能です。

交流会を実施している区外、或いは近郊の市町にお住まいの方の参加やお問い合わせも多く、ご要望の多いところから順に交流会の開催準備をすすめています。

会に参加ご希望の方は、アレルギー支援ネットワーク事務局までお気軽にお問い合わせください。皆さまのご参加をお待ちしております。

【対象】0歳~中学生位までのアレルギー児の保護者

【参加費用】各交流会に確認して下さい。

【各地の患者会】

<http://www.aller-net.com/network/network04/network04-03/>

【アレルギー支援ネットワーク事務局】

電話：052-485-5208

URL： <http://www.aller-net.com/>

12、Gooddo (グッドゥ) でアレルギー支援ネットワークを応援して下さい!!

アレルギー支援ネットワークは、ソーシャルグッドプラットフォーム gooddo (グッドゥ) に参加しております。

<http://gooddo.jp/gd/group/allesien/?md=fb>

上記のリンクから gooddo のアレルギー支援ネットワークのページに行き、毎日ぜひ『応援する!』をクリックして下さい。(クリックにお金はかかりません)

クリックによって20~1000ポイントがアレルギー支援ネットワークの支援のために加算され、ポイントに応じて応援企業から支援金が「アレルギー支援ネットワーク」に届けられます。

他にも gooddo 内ではいいね!やお買い物でもご支援頂く事ができます。

ぜひ「応援する!」「いいね!」でご支援、ご協力をお願いいたします!

<http://gooddo.jp/gd/group/allesien/?md=fb>

▼gooddo (グッドゥ) とは?

自分の応援したい社会貢献団体を、誰でも、今すぐ、簡単に応援することができるソーシャルグッドプラットフォームです。

ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。

お問い合わせ：info@alle-net.com

=====

★メールアドレスの変更や、このメールマガジンに関するお問合せは
asn-mailmagazine@alle-net.com（メルマガ編集部）までお願いします。

また、今後、アレルギー支援ネットワークのメールマガジンを希望されない方は、お手数ですが、件名に「配信停止希望」と書いてメールをお送りください。（メールマガジン配信準備の都合上、配信停止手続きと行き違いでお届けする場合がございますが、ご了承ください。）

★メルマガの転載について

無断転載・転送を禁じます。アレルギーの会などが活動で使用する場合は、メルマガ編集部
asn-mailmagazine@alle-net.com までお尋ねください。

なおメールマガジンのメールアドレスには、返信はできません。ご注意ください。

☆☆☆みなさまからのご質問を募集中！アレルギーや支援ネットワークに関することなんでもOKです。ぜひお気軽にどうぞ☆☆☆

★みなさまからのご要望、お便り、アレルギーについての疑問などお寄せください。

発行/編集 認定NPO 法人アレルギー支援ネットワーク

◇事務局◇

453-0042 名古屋市中村区大秋町2-45-6

▽TEL：052-485-5208 ▽E-mail：info@alle-net.com

☆◆-----